

2026年4月入学／2026年10月入学（冬期募集）

横浜国立大学大学院都市イノベーション学府 入学試験問題 解答例・出題意図

建築都市文化専攻

建築都市文化コース [建築系・都市文化系問題]

横浜都市文化コース [Y-GSC]

試験科目 学科試験 I

[分野名： ①建築史・建築芸術]

1. 中尊寺金色堂

建築年代（12世紀中期でも可）、施主、背景（浄土信仰の高まりの中で阿弥陀堂建築盛行）、庭園と建築の融合などの視点、建築装飾への指摘（2件まで）、等が適切説明されているか。

2. 二条城二の丸御殿

立地と目的、建築年代（家康創建と家光により大改修のそれぞれを評価する）、建築構成の特色、具体的な装飾細部や大広間の特色など、近世書院造における位置づけ、等が適切に説明されているか。

3. パンテオン（ローマ）

建築年代（2世紀でも可）、時代背景、建築に関わる人物、建築の特徴、その後の建築に与えた影響、等が適切に説明されているか。

4. ルネサンス様式の建築の建築的特徴

時代背景、建築年代（14～16世紀にかけてなどでも可）、建築の特徴、建築家や建築書の登場（具体的事例とともに）、イタリアを中心とした諸国への波及と地域的特徴、等が適切に説明されているか。具体的な建築への言及も加点。

5. アール・デコ

時代背景（20世紀初頭でも可）：パリの「現代装飾・産業美術国際博覧会」開催（1925年）を起点に、博覧会の特徴（百貨店のパヴィリオン出店とその目的、またそれ以外のパヴィリオンとの対比など）、造形的特徴、具体的事例とともにその後の波及、等が適切に説明されているか。

2026年4月入学／2026年10月入学（冬期募集）

横浜国立大学大学院都市イノベーション学府 入学試験問題 解答例・出題意図

建築都市文化専攻

建築都市文化コース [建築系・都市文化系問題]

横浜都市文化コース [Y-GSC]

試験科目 学科試験 I

[分野名： ②建築計画]

問 1

(1)

- a. モダンリビング
- b. 池辺 陽
- c. 広瀬 鎌二

(2)

- d. オープンプランスクール
- e. 槇 文彦
- f. ①
- g. 35

(3)

- h. コーポラティブ
- i. ユーコート
- j. コレクティブ

(4)

- k. オストメイト
- l. 20
- m. 階ごとに

問 2

以下のポイントをふまえ、適切な改修例や福祉用具による介入例が具体的に説明されていること。

（採点のポイント）

高齢者の残っている力が発揮できないほどのバリアは建築改修や福祉用具の導入によって解消すること。一方で、高齢者に残っている力を使う機会すら奪ってしまうことのないように配慮すること。

2026年4月入学／2026年10月入学（冬期募集）

横浜国立大学大学院都市イノベーション学府 入学試験問題 解答例・出題意図

建築都市文化専攻

建築都市文化コース [建築系・都市文化系問題]

横浜都市文化コース [Y-GSC]

試験科目 学科試験 I

[分野名： ③都市計画]

1) オースマンのパリ^{かいぞう}改造

【出題意図】

19世紀に行われた大規模な都市改造についての的確に記述する力を問うています。

【解答例】

19世紀半ばに皇帝ナポレオン3世の命によりセーヌ県の知事のオースマンが実施したパリの大規模な市街地整備である。オースマンは中世以来の市街地を切り裂くように直線的な広幅員道路のブールバールやアヴェニューを通し、上下水道の整備による公衆衛生の向上、広場、街並みの修景、モニュメントの設置による都市美を演出し、現在のパリの原型をつくり上げた。

2) 都市計画^{としけいかくていあんせいど}提案制度

【出題意図】

都市計画法に基づく都市計画制度についての的確に記述する力を問うています。

【解答例】

2002年の都市計画法の改正により創設された都市計画提案制度は、土地所有者やまちづくりNPO等が土地所有者等の3分の2以上の同意など一定の条件を満たした場合に、都市計画の決定や変更等を提案することができる制度である。本制度の意義は、行政が立案する都市計画に対して住民が受動的な立場に留まっていた従来の構図から、住民自らが主体となって都市計画の決定や変更等の提案ができる関係に転換した点である。

3) PPP と PFI

【出題意図】

都市計画の官民連携における基本概念を比較し、それらの共通点と相違点についての的確に記述する力を問うています。

【解答例】

PPP は Public Private Partnership、PFI は Private Finance Initiative の略称である。いずれも「官 (Public)」と「民 (Private)」が連携し、民間の資金やノウハウを活用して、共サービスの向上やコスト削減を図るという点では共通している。一方、PPP は官民連携の広範な概念を指す総称であるのに対し、PFI は PPP の具体的な手法の一つであり、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法を指す。

4) 高度地区と高度利用地区

【出題意図】

都市計画法に基づく地域地区の種類を区別・比較し、それらの共通点と相違点についての的確に記述する力を問うています。

【解答例】

高度地区と高度利用地区は、いずれも都市計画法に基づく地域地区の一つであることは共通している。しかし、高度地区は、住環境や景観の保護を目的に高さの最高限度または最低限度を定めるのに対し、高度利用地区は土地の高度利用や都市機能の更新、防災性の向上を目的に容積率の最高限度および最低限度、建ぺい率の最高限度、壁面の位置の制限を定めるという点が相違点である。

2026年4月入学／2026年10月入学（冬期募集）

横浜国立大学大学院都市イノベーション学府 入学試験問題 解答例・出題意図

建築都市文化専攻

建築都市文化コース [建築系・都市文化系問題]

横浜都市文化コース [Y-GSC]

試験科目 学科試験 I

[分野名： ④都市環境工学]

I. (6点×5問=30点)

(1) 都市ヒートアイランド現象

都市化による地表面被覆の人工化やエネルギー消費に伴う人工排熱の増加により、地表面の熱収支が変化して引き起こされる熱大気汚染であり、都心部の気温が郊外に比べて島状に高くなる現象

(2) 広域循環中水道

下水処理場で処理した水（中水、再生水）を雑用水用として地域の建物に供給するもの

(3) 1次エネルギーと2次エネルギー

1次エネルギー：石油、石炭、天然ガス、水力、風力、太陽エネルギーなど自然から直接採取できるエネルギーのこと。

2次エネルギー：電力、都市ガス、ガソリンなど1次エネルギーを使いやすい形に転換・加工して得られるエネルギーのこと。

(4) 雨水浸透ます

雨水を一時的に貯め、地中に徐々に浸透させるために設置される雨水ます。一般的には、コンクリートや樹脂で作られた箱型のますで、側面や底面に多数の浸透孔が空いている。これによって雨水を地下土壌に浸透させ地下水を涵養するとともに、雨水の地表面流出量を軽減し、洪水や浸水のリスクを減少させる。

(5) 温度差エネルギー

河川や海水、下水、地下水などといった水温と大気温の差から得るエネルギーのことで、これらは夏は大気よりも冷たく、冬は大気よりも暖かいことから、この温度差を利用したエネルギーを高効率ヒートポンプにより活用することができる。

Ⅱ. (20点)

都市緑地は、環境保全、防災、地域活性化、住民の健康促進など、持続可能な都市づくりにおいて重要な役割を果たしている。

①環境保全機能

二酸化炭素の吸収や大気の浄化、ヒートアイランド現象の緩和に寄与する。

植物の光合成によって二酸化炭素を吸収し、蒸散によって都市の気温を下げることから、気候変動への適応策としても重要。

生物多様性を支える生息地としても機能し、地域固有の生態系を保護する役割ももつ

②防災機能

大震災や大火災時の避難地や延焼防止帯として機能する

雨水の浸透や貯留を通じて洪水を抑制する役割ももつ

③地域活性化

地域住民が集まり交流する場を提供する。公園や緑地は、レクリエーション活動や文化活動の拠点となり、住民の健康維持・増進や地域コミュニティの形成に寄与する。

地域の歴史的・自然的資源を活用した観光振興の拠点としても機能し、地域経済の活性化にも貢献する。

④健康促進

住民の健康の維持・増進に寄与する。運動や自然との触れ合いを通じて、心身の健康を促進する場として重要。

2026年4月入学／2026年10月入学（冬期募集）

横浜国立大学大学院都市イノベーション学府 入学試験問題 解答例・出題意図

建築都市文化専攻

建築都市文化コース [建築系・都市文化系問題]

横浜都市文化コース [Y-GSC]

試験科目 学科試験 I

[分野名： ⑤建築環境工学]

[1]

- | | | |
|---------|-------|-------|
| ① (イ) C | (ロ) F | (ハ) C |
| ② (ニ) D | (ホ) B | (ヘ) E |
| ③ (ト) D | (チ) E | (リ) A |
| ④ (ヌ) B | (ル) C | (ヲ) F |

[2]

① 換気手法ごとの特性理解、および端的な記述能力を問うもの。

1. 前提条件の理解, 2. 解決手法の選択, 3. 原理説明, 4. 省エネ配慮を評価する。

② 建築化照明に対する基本的な理解を問うもの。

1. 建築の部位と一体となった照明であることへの理解, 2. 選定した方式の特徴,
3. 選定した方式による照明の効果
を評価する。

2026年4月入学／2026年10月入学（冬期募集）

横浜国立大学大学院都市イノベーション学府 入学試験問題 解答例・出題意図

建築都市文化専攻

建築都市文化コース [建築系・都市文化系問題]

横浜都市文化コース [Y-GSC]

試験科目 学科試験 I

[分野名： ⑥建築材料構法]

1

- (1) 役物：隅角部など特殊な部分に用いる納まり部材。
- (2) モルタル：セメント、砂、水を練り混ぜたもの。
- (3) グラスウール：ガラス繊維を綿状に加工したもの。断熱や吸音材として用いられる。
- (4) 集成材：ラミナ（薄い板材、ひき板）を繊維方向を長さの方向に平行に組み合わせ、接着剤でひとつの材としたもの。
- (5) 合わせガラス：複数枚の板ガラスを中間膜で接着した安全ガラスで、割れても破片が飛散しない。
- (6) 軽量形鋼：帯鋼をロールで冷間成形して製造した形鋼。戸建住宅などで用いられる。

2

(1)	(2)	(3)	(4)
※図は省略	※図は省略	※図は省略	※図は省略
基礎の底部を広げ、荷重を分散して地盤面に伝える。	四方に雨を流すことができるが、小屋裏換気がやりづらい。	鉄筋をコンクリートで被覆するために必要な厚さで、鉄筋コンクリート造の耐久性を高める。	壁面に雨水が伝わるのを防ぎ、防水層の端部から水が浸入することを防ぐ。

3

- (1) A 吊りボルト／B 野縁受け ／C せっこうボード
- (2) 吊りボルトを回転させて、天井板のレベルを調整する。
- (3) D 貫／E 鴨居 ／F 敷居／G 長押
- (4) 毛細管現象で雨水が浸入しないようにするため、きつく締めすぎない。
- (5) 部材を分割して大きさを一定程度の範囲内に収めるのは、トラックなどで運搬できる物の大きさが法律で制限されていることと、大きすぎると現場で施工しにくいから。

2026年4月入学 / 2026年10月入学 (冬期募集)

横浜国立大学大学院都市イノベーション学府 入学試験問題 解答例・出題意図

建築都市文化専攻

建築都市文化コース [建築系・都市文化系問題]

横浜都市文化コース [Y-GSC]

試験科目 学科試験 I

[分野名: ⑦建築構造力学]

問1

図1A

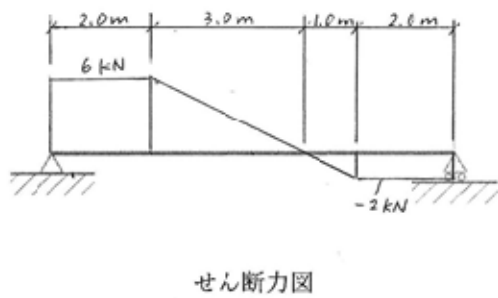
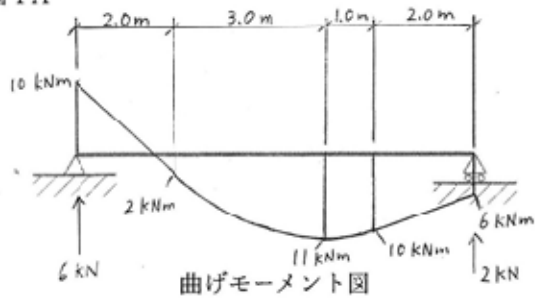
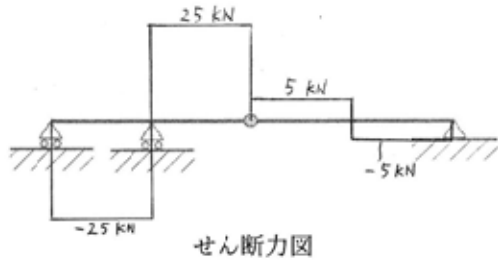
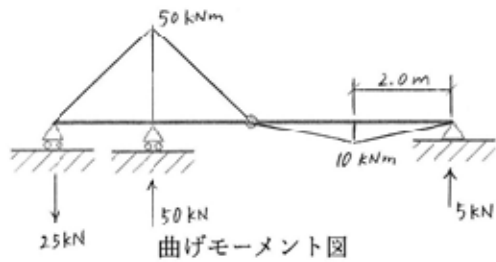
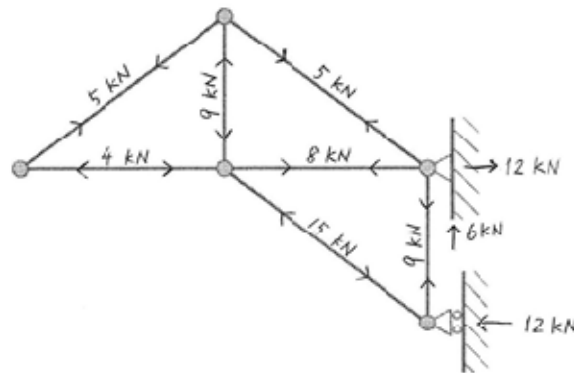


図1B

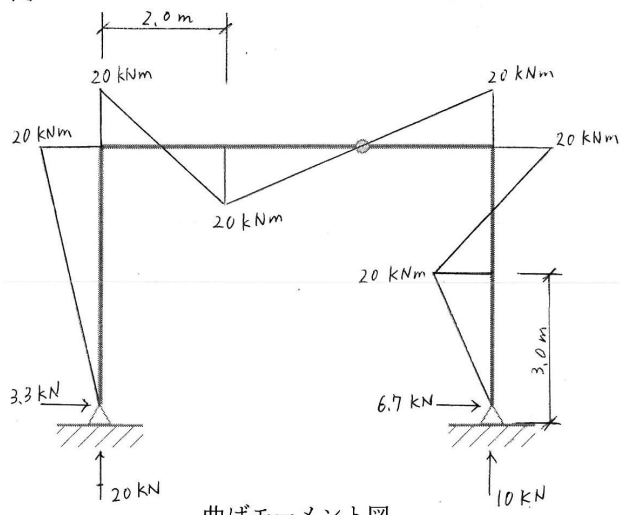


問2

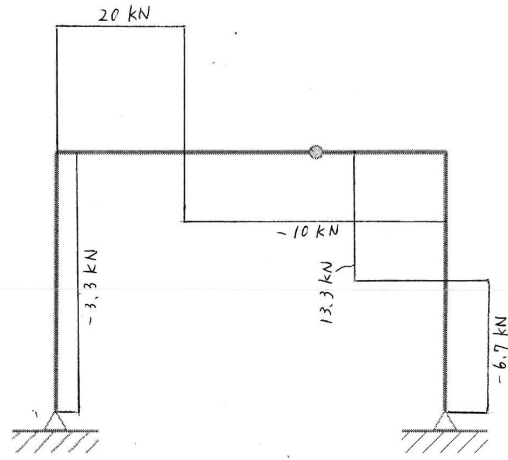


軸力図

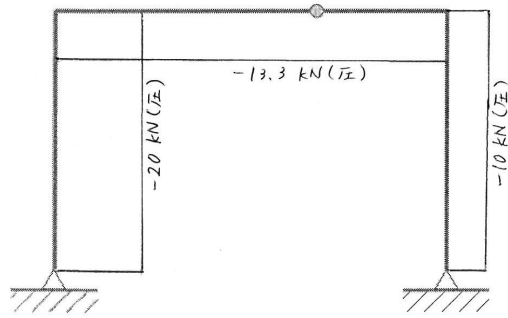
問3



曲げモーメント図



せん断力図



軸力図

2026年4月入学／2026年10月入学（冬期募集）

横浜国立大学大学院都市イノベーション学府 入学試験問題 解答例・出題意図

建築都市文化専攻

建築都市文化コース [建築系・都市文化系問題]

横浜都市文化コース [Y-GSC]

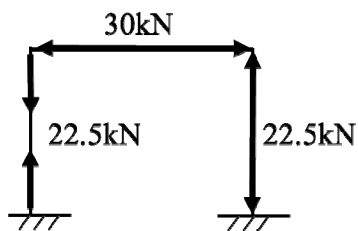
試験科目 学科試験 I

[分野名： ⑧建築構造計画]

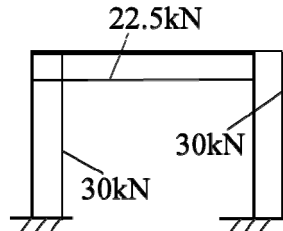
問 1

(1) 反曲点高さ = 1.5m

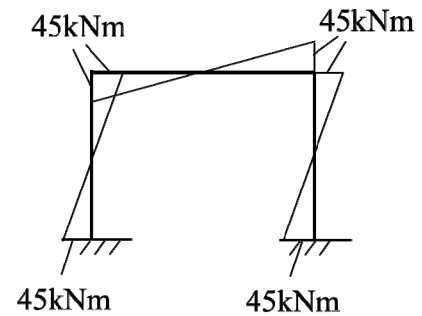
(2)



軸力図



せん断力図



曲げモーメント図

(3) 水平方向変位 = 6.18 mm

(4) 筋かいの軸力 $N = 12.8\text{kN}$

(5) 水平方向変位 = 3.01 mm

2026年4月入学／2026年10月入学（冬期募集）

横浜国立大学大学院都市イノベーション学府 入学試験問題 解答例・出題意図

建築都市文化専攻

建築都市文化コース [建築系・都市文化系問題]

横浜都市文化コース [Y-GSC]

試験科目 学科試験 I

[分野名： ⑨建築・都市防災計画]

1. 用語説明（50～100字程度）を求める問題

（1）二方向避難：災害時に一つの避難経路が使用できなくなった場合に備え、複数の避難経路を確保すること。建築基準法では、一定の用途、床面積、階数の建物において、避難階以外から避難階または地上に通ずる「2以上の直通階段」を設置することを求めている。

（2）延焼遮断帯：地震に伴う市街地火災の延焼を阻止する機能を果たす道路、河川、鉄道、公園等の都市施設及びこれらと近接する耐火建築物等により構成される帯状の不燃空間。震災時の避難経路、救援活動時の輸送ネットワークなどの機能も担う。

（3）応急仮設住宅：大規模な災害が発生した場合に、居住していた住家が全壊、全焼又は流出し、居住する住家がない者であって、自らの資力では住家を得ることができない者に対し、一時的な居住の場を確保するために、災害救助法に基づき供与される住宅。

（4）指定緊急避難場所：居住者等が災害から命を守るために緊急的に避難する施設または場所。災害の危険が切迫した場合に居住者等の安全な避難先を確保する観点から、洪水、津波等の災害の種類ごとに市町村長が指定する。

2. グリーンインフラ整備により期待される防災・減災効果を問う問題。

[例1] 緑地や雨庭の整備が、景観の向上や生物多様性の保全等に加え、雨水流出抑制に資することから水害リスクを低減することが期待される。

[例2] 森林の整備（植栽、下刈り、間伐など）が、森林の有する土砂災害防止機能・土壌保全機能や水源涵養機能（洪水緩和機能）を高め、また、海岸林の有する防風や津波被害の軽減といった防災機能も高めることが期待される。

2026年4月入学／2026年10月入学（冬期募集）

横浜国立大学大学院都市イノベーション学府 入学試験問題 解答例・出題意図

建築都市文化専攻

建築都市文化コース [建築系問題]

試験科目 学科試験Ⅱ

[分野名： 建築史・建築芸術]

問題Ⅰにおける 記述すべきことの要点

- 中枢建築に関する理解：回廊・中門・金堂・塔・講堂の役割を理解しているか。
- 4 寺院における伽藍構成が理解できているか。
- 金堂と塔の相対的位置づけの変化を理解できているか。

などが適切に説明されているか。

問題Ⅱにおける 記述すべきことの要点

- ロマネスク様式：
11 世紀以降の西欧世界で主流となる教会堂建築の様式。代表例や平面形式の特徴、架構や開口部の特徴を理解しているか。
- ゴシック様式：
12 世紀半ばから西欧世界で主流となる教会堂建築の様式。代表例や平面形式の特徴、架構や開口部の特徴、特に巨大化していく建築を支えるための構造的工夫を理解しているか。
- バロック様式：
17 世紀に西欧世界で主流となった建築様式。代表例や平面形式の特徴、架構や開口部の特徴を理解しているか。特に、上記の 2 つの様式に対し、建築立面の構成にどのような異同が認められるかを理解しているか。

などが適切に説明されているか。

2026年4月入学／2026年10月入学（冬期募集）

横浜国立大学大学院都市イノベーション学府 入学試験問題 解答例・出題意図

建築都市文化専攻

建築都市文化コース [建築系問題]

試験科目 学科試験Ⅱ

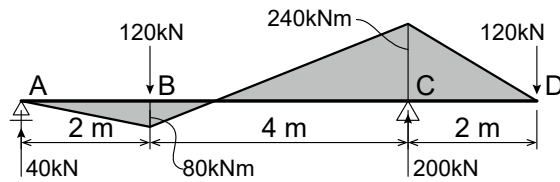
[分野名： 鉄筋コンクリート構造学]

問1 出題意図：用語の解説により，鉄筋コンクリート構造や架構について，弾性域から非線形領域に至るまでの挙動や，破壊メカニズムや抵抗機構，さらには構造解析で用いる仮定に関する知識を問う。

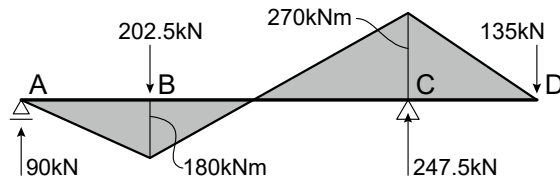
問2 出題意図：計算問題への解答により，鉄筋コンクリート部材断面の曲げ強度を用いた計算により，部材や部分架構が非線形化することに関する知識や理解，思考力を問う。計算結果は次の通り。

(1) 270 [kN-m], (2) 180 [kN-m], (6) $Q=150$ [kN], (7) 軸力=63 [kN] (圧縮)

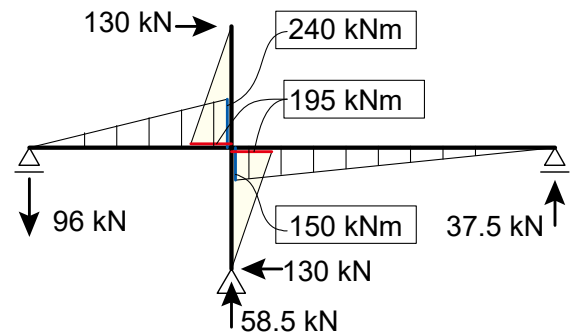
(3)



(4) B, D 点の荷重 $P_1=202.5$ kN, $P_2=135$ kN



(5)



問3 出題意図：架構の耐震性，剛性率や偏心率に及ぼす耐震壁の影響に関する理解や思考力を問う。

(1) では，平面的および立面的に，剛性バランスの良否の理解を問い，(2) では，悪い点について，平面・立体的視点から改善策を問う。さらに，(3) では，耐震壁を含む架構の立体的な挙動の理解を問う。